

令和4年度豊後水道周辺漁場モニタリング調査結果速報

(No.2021 大分5)

地点	観測日	観測時間	水深	水温	塩分	細胞密度cells/ml			
				(°C)	(PSU)	カレニア ミキモイ	コクロディニウム ポリクリコイデス	ヘテロシグマ アカシオ	シャットネラ属
O1	7月22日	9:28	0m	23.9	32.42	2	0	0	0
			10m	21.9	33.00	0	0	0	0
O2	7月22日	10:31	0m	23.8	32.15	8	0	0	0
			10m	23.0	32.38	2	0	0	0
O3	7月22日	10:01	0m	23.6	32.35	2	0	0	0
			10m	23.3	32.45	2	0	0	0
O4	7月22日	8:57	0m	23.6	32.35	8	0	0	0
			10m	23.3	32.45	3	0	0	0
O5	7月22日	10:47	0m	26.9	30.36	7	0	1	0
			10m	23.0	32.30	12	0	0	0
O6	7月22日	11:22	0m	25.8	30.61	108	0	0	0
			10m	23.3	32.13	1	0	0	0
O7	7月22日	8:31	0m	23.9	31.77	32	0	0	0
			10m	22.9	32.36	12	0	0	0
O8	7月22日	7:13	0m	21.8	33.36	1	0	0	0
			10m	21.2	33.45	1	0	0	0
O9	7月22日	7:47	0m	21.5	33.32	3	0	0	0
			10m	21.3	33.36	0	0	0	0

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	警戒密度
シャットネラspp.	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	50000以上
カレニア・ミキモイ	2000以上
コクロディニウム・ポリクリコイデス	300以上
ヘテロカプサ・サーキュリスカーマー	1000以上

\* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。  
 \* アラビ、ササエ等ではカレニアで100~200細胞/mlで  
 斃死する可能性があります。  
 \* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を  
 乗じた細胞密度とする。

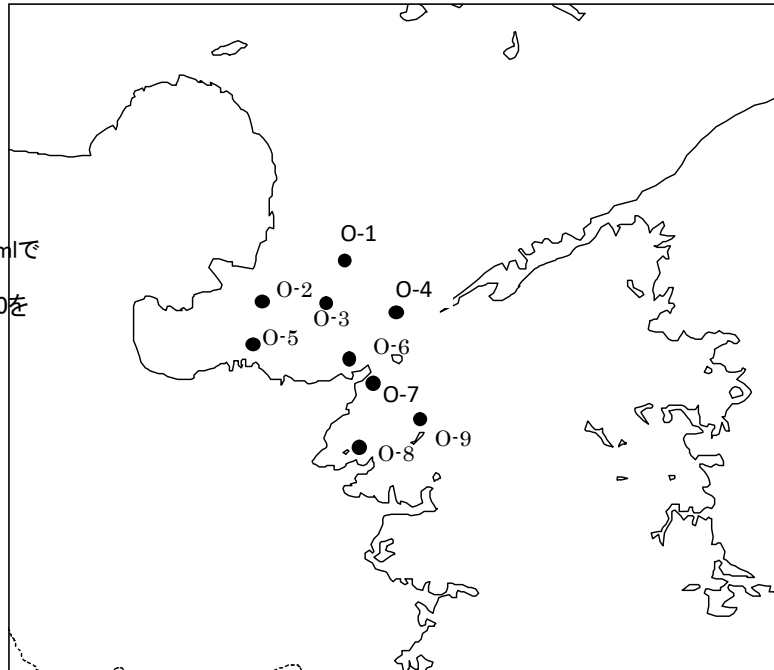


図. 赤潮調査点